

# 青少年 とちぎ

令和元年8月2日

第216号

## CONTENTS

- 1 「県民のつどいin大田原市」
- 3 令和元(2019)年度事業
- 4 県民会議組織の紹介
- 6 少年の主張 全国大会入賞者インタビュー
- 10 青少年育成指導員会総会・自主研修会
- 11 全体連携会議
- 12 親子学び合い事業
- 13 事業紹介
- 16 2019「家庭の日」絵日記コンテスト



栃木県青少年育成県民会議  
シンボルマーク

【発行】栃木県青少年育成県民会議（公財）とちぎ未来づくり財団青少年育成課  
宇都宮市本町1-8 TEL028-643-1005 FAX028-650-5284 URL: <http://www.tmf.or.jp> E-mail: [ikusei@tmf.or.jp](mailto:ikusei@tmf.or.jp)

## 「心豊かな青少年を育む県民のつどいin大田原市」開催

6月22日（土）午後1時30分から、那須野が原ハーモニーホールの大ホールで「～とちぎの子ども育成憲章制定10周年記念～心豊かな青少年を育む県民のつどいin大田原市」を開催しました。県民のつどいは、明日のとちぎを担う青少年が夢と希望を持って心豊かでたくましく成長できるよう、家庭、学校、職場、地域などが相互に連携・協力を図りながら、県民総ぐるみで青少年の健全育成を推進していくという意識を高めることを目的としています。今年度は大田原市青少年健全育成市民大会と同時開催としました。当日は900名の皆様にご来場いただき大変盛況でした。会場ロビーでは、第68回“社会を明るくする運動”作文コンテスト優秀者作文、第41回栃木県少年の主張発表県大会優秀者作文、2018「家庭の日」絵日記コンテストの入賞作品をはじめ、栃木県青少年育成県民会議が実施している「ネット時代の歩き方講習会」の講師である下田太一氏が監修した「すまほかるた」などの青少年に関する活動と、大田原市の4大祭りである「屋台まつり」「紫陽花まつり」「与一まつり」「天狗王国まつり」の紹介や大田原市の観光案内等がロビーに展示され、数多くの来場者の方々をご覧になっていました。また、来場者には大田原市が作成した青少年健全育成標語入りのクリアファイルが配られました。



第1部の開会行事ではとちぎの子ども育成憲章制定10周年を記念して福田知事と津久井市長が先導役をつとめ、会場にいる全員で育成憲章の唱和を行いました。その後、大田原市青少年健全育成市民大会で最優秀賞を受賞した大田原市立大田原小学校6年大森悠生さん（題名「家族と友達の絆」）と大田原市立黒羽中学校1年松岡杏胡さん（題名「一粒の雫」）による作文発表がありました。

大森さんは相手を思いやることの大切さについて発表してくれました。母親の教えにより、だんだんと周りに目を向けられるようになった。



た今、自分だけではなく、みんなでお互いのことを思いやることができれば、よりよい生活を送ることができるとなると力強く発表してくれました。

松岡さんは誰もが差別やいじめのない幸せな人生を送るために必要なことを訴えました。相手を認めることや優しい言葉かけなど、愛ある行動が人の心を潤すことを改めて教えてくれました。

第2部は、栃木県立大田原女子高等学校ダンス部による舞台発表でした。マネキンのような顔部分を使った重厚で繊細な表現が特徴的だった創作ダンスから、舞台全面で繰り広げられる軽快で力みなぎるダンスまで、27名による多彩なダンスパフォーマンスは圧巻で、客席からは惜しみない拍手が送られました。



第3部は、長野オリンピック金メダリストで元スピードスケート選手の清水宏保氏による講演「ハンディを乗り越えての金メダル」でした。

幼少期から喘息を患っていた清水さん。喘息を治すために始めたスケートはお父様から教わったそうです。そして、地道に練習を重ね、実力をつけていく中、世界での活躍を目標にするようになりました。身長が低いため、世界で活躍するのは厳しいとコーチ達に言われ続けたそ

うですが、お父様だけは「絶対にできる」と本人の力を信じサポートしてくれたそうです。しかし、清水さんが高校生の時、よき理解者であったお父様が亡くなられ、その後、お母様が身を粉にして働いてくれたおかげでスケートを続けることができたと話してくださいました。子どもの力を信じ常に傍らで見守ってくれたご両親がいてくれたからこそ今の自分があるという感謝の言葉が強く心に残りました。

現在は今回のような講演活動の他、介護の分野に意欲的に関わり、医療とスポーツを融合させた介護施設やスポーツジムを設立するなど活躍されています。衆議院議員選挙に出馬した経緯や大学院での医療経営学の学びについてもこやかにお話してくださいました。

清水さんは子どもに目標を設定させる場合、子ども自身で考えるように大人が誘導することが大切だとおっしゃっていました。子どもたちは多くの可能性を秘めており、様々な選択肢が用意されているわけですが、多種多様なことに挑戦させること、そして、それらの経験が人間としての基盤づくりに大いに役立つと現在感じているそうです。また、謙虚であることの大切さについても熱く語ってくださいました。謙虚であれば一生学び続けることも、意識の新陳代謝を図ることもでき、人にも感動を与えることができると。そのようなお話の中から大人の役割を改めて認識できた思いです。

清水さんをご自身の大切なメダルを講演開始直後、来場者に手渡し順番にまわすよう声を掛けてくださいました。来場者の中にはオリンピックのメダルに触れることができ、興奮が冷めやらない方もいらっしゃいました。



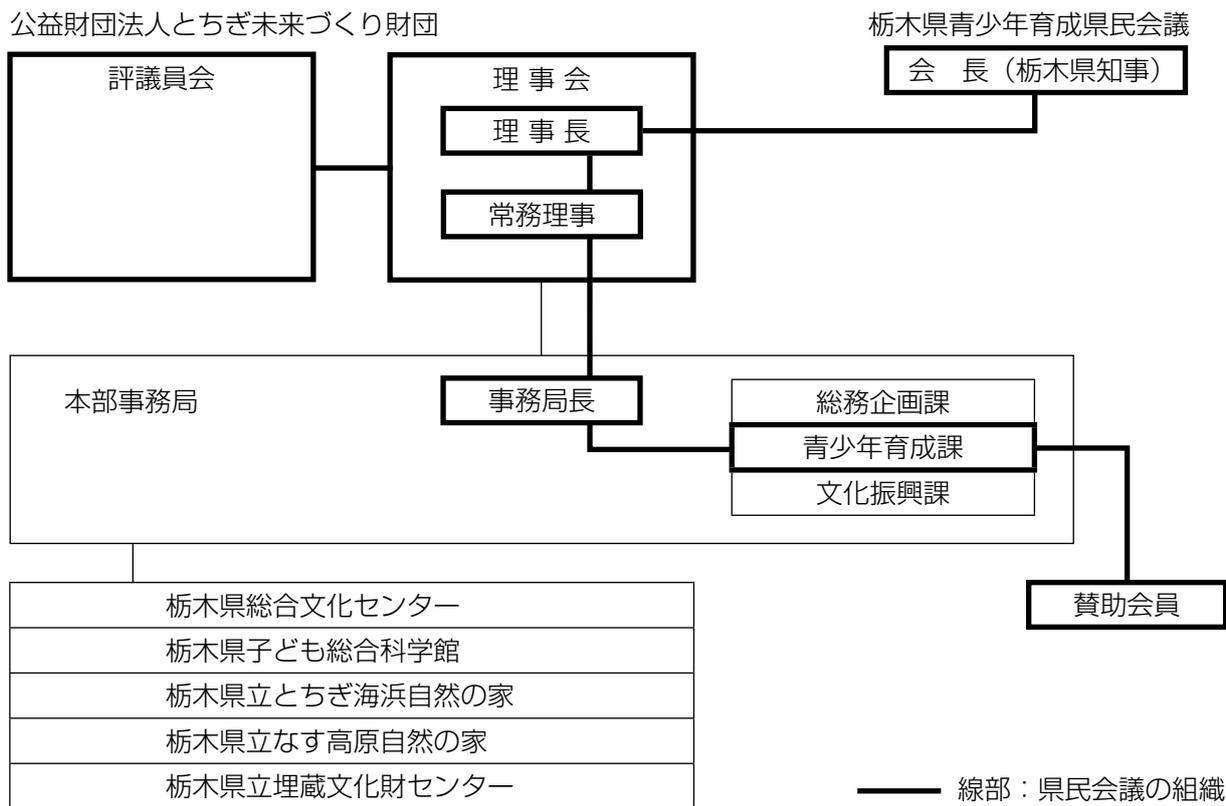
# 令和元(2019)年度 栃木県青少年育成県民会議事業

●令和元年度は以下の事業を実施する予定です。

事業名	対象	内容	実施時期
<b>1 市町村民会議との連携強化、住民啓発促進に関する事業</b>			
(1) 青少年育成市町村民会議支援	青少年育成市町村民会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村民会議の組織強化、活動支援</li> <li>市町村民会議対象の全体会議、研修会の開催</li> <li>内閣府主催中央研修会への派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体連携会議：6月19日(水) 総合教育センター</li> <li>全体研修会：2月20日(木) 総合教育センター</li> <li>「子ども・若者育成支援地域連携」中央研修会 11月25日(月)～26日(火) 矢板市、佐野市、上三川町</li> </ul>
(2) 青少年育成指導員活動支援	青少年育成指導員	<ul style="list-style-type: none"> <li>育成指導員の設置、活動支援</li> <li>育成指導員対象の研修会開催、助成</li> <li>内閣府主催ブロック研修会への派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主研修会(年3回)</li> <li>地区別研修会(8地区)</li> <li>「子ども・若者育成支援地域連携」関東甲信越静ブロック研修会 9月18日(水) 静岡県静岡市</li> </ul>
(3) 広報啓発	一般県民	<ul style="list-style-type: none"> <li>「青少年とちぎ」の発行</li> <li>県民運動啓発チラシ、物品等の作成</li> <li>「ふれあいフェスティバル」への参加</li> <li>新規賛助会員の募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年とちぎ発行(年3回7,12,3月)</li> <li>ふれあいフェスティバル：10月27日(日) とちぎ青少年センター</li> </ul>
(4) 青少年育成団体連携	各青少年育成関係団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>各青少年育成関係団体との連絡調整</li> <li>県、市町、団体等の実施する青少年育成関連事業への共催、後援、参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区青少年育成協議会総会、研修会</li> <li>青少年育成関係団体の連携事業開催日</li> </ul>
<b>2 青少年の自立と社会参加活動の推進に関する事業</b>			
(1) 少年の主張発表大会	中学生 一般県民	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区大会への助成</li> <li>県大会の開催</li> <li>全国大会への推薦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区大会：河宇(8/21)、下都賀(8/22) 芳賀(8/22)、上都賀(8/24) 安足(9/3)、那須(9/5) 南那須(9/12)、塩谷(9/13)</li> <li>県大会：9月21日(土) 宇都宮市文化会館小ホール</li> <li>全国大会：12月以降(詳細は未定) 国立オリンピック記念青少年総合センター</li> </ul>
(2) 青少年育成県民会議表彰	一般県民	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年育成に功績のあった青少年団体、個人等の表彰</li> <li>永年(20年)賛助会員への感謝状の贈呈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表彰応募：5月～8月</li> <li>審査：9月</li> <li>表彰：11月15日(金) 県公館</li> </ul>
(3) 子ども読書活動推進	一般県民	<ul style="list-style-type: none"> <li>「2019栃木子どもの本連続講座」の実施</li> <li>「子どもに読書のよろこびを」</li> </ul>	講座：教育会館小ホール 4回 (6/15)(7/6)(8/31)(9/21)
(4) 生き生き体験活動	ジュニアリーダー ダースクラブ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高生のリーダー育成を図る団体への活動助成</li> </ul>	通年
(5) 親子学び合い～ネット時代の歩き方講習会～	小中学生とその保護者、及び特別支援学校等の児童生徒とその保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネット時代をよりよく歩んでいくために必要な力や環境づくりについて考える講習会の開催</li> </ul>	講習会：5月～令和2(2020)年2月 各市町小中学校、義務教育学校 各特別支援学校等
(6) (新規事業) 親子学び合い講師養成講座	一般県民で将来「親子学び合い事業」の講師として活動する意思のある方	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子学び合い事業の講師として将来活躍できる人材の育成</li> </ul>	講座：とちぎ青少年センター 4日間(①～④のうち各1日参加) ①8月4日・5日 ②9月1日・2日 ③9月29日・30日 ④10月6日・7日
<b>3 「とちぎ心のスクラム県民運動」推進事業</b>			
(1) 「県民のつどい」開催	一般県民、青少年育成関係者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>心豊かな青少年を育む県民大会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民のつどい：6月22日(土) 那須野が原ハーモニーホール</li> </ul>
(2) 「家庭の日」推進	一般県民	<ul style="list-style-type: none"> <li>「家庭の日」絵日記コンテストの実施</li> <li>「家庭の日」啓発物の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集期間：7月～9月</li> <li>入賞者表彰：11月15日(金) 県公館</li> </ul>

# 県民会議組織の紹介

## ■公益財団法人とちぎ未来づくり財団の組織（令和元年7月現在）



## ■公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 評議員（敬称略）

役職名	氏名	所属役職名
評議員	安久都和夫	栃木県文化協会参与
評議員	荒川 政利	栃木県教育委員会教育長
評議員	石崎 金市	栃木県県民生活部長
評議員	上野 憲示	文星芸術大学名誉学長
評議員	大森 玲子	宇都宮大学地域デザイン科学部教授
評議員	菊池 宏行	東京石灰工業(株)代表取締役社長
評議員	酒寄 雅志	國學院大学栃木短期大学日本文化学科教授
評議員	穴戸 良子	作新学院大学女子短期大学部幼児教育科准教授
評議員	鈴木 憲一	下野新聞社論説委員長
評議員	林 香君	陶芸作家

## ■公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 理事・監事（敬称略）

役職名	氏名	所属役職名
理事長	小林 延年	(公財)とちぎ未来づくり財団
常務理事	山口 敏之	(公財)とちぎ未来づくり財団
理事	稲見けい子	とちぎミュージカル協会会長
理事	金田 繁夫	(公財)とちぎ未来づくり財団
理事	千金楽 宏	栃木県県民生活部次長兼県民文化課長
理事	土田 陽吉	栃木県青少年育成指導員会会長
理事	野原 正祥	栃木県教育委員会事務局生涯学習課長
理事	橋本 和英	栃木県PTA連合会専務理事
理事	水越 久夫	栃木県交響楽団理事長
監事	石塚 伸	公認会計士・税理士
監事	横山 順一	(株)足利銀行県庁内支店長

(令和元年7月現在)

## 栃木県青少年育成指導員

昭和43(1968)年に、栃木県青少年問題協議会は各地域での青少年育成の民間活動の核となる民間指導者として、各郡市に18名の「青少年育成指導員」を、各市に2名、各町村に1名、計60名の「青少年育成推進員」を委嘱しました。この「青少年育成指導員」「青少年育成推進員」は市町村の組織の中心となるだけでなく、地区青少協の主要メンバーとなります。現在の「青少年育成指導員」はこの延長上にあり、県民会議会長（栃木県知事）が委嘱しています。

市 町 名	氏 名
宇都宮市	関口 浩
	我妻 勝次
	渡邊美津子
	遠藤 廣
上三川町	菱沼 里美
鹿沼市	石島 忠夫
	竹澤 恵子
日光市	石川 茂
	齊藤 佳子
真岡市	上野 均
	高松健比古
益子町	小倉 周次
茂木町	佐藤 亘

市 町 名	氏 名
市貝町	大畑 耕兵
芳賀町	綱川 文世
栃木市	青木 榮二
	福富 正浩
	瀬下 敏明
小山市	田島登志雄
	中村佐利子
下野市	前原 保彦
壬生町	戸崎 裕司
野木町	野田 光典
足利市	古川 克美
	横田久美子

市 町 名	氏 名
佐野市	小林 康男
	小代 久子
矢板市	岡本美智子
さくら市	小口 勤
塩谷町	吉成 東
高根沢町	小野口 弘
大田原市	伊藤 三良
	佐藤 富夫
那須塩原市	三本木忠二
	橋本 秀晴
那須町	土田 陽吉
那須烏山市	小堀 重光
那珂川町	木村 輝昭

## 各地区青少協

各地区青少協は、各市町青少年行政主管課長、各教育事務所長、各警察署長、郡内各市町高等学校長会長、青少年育成指導員を構成員として、地区青少協総会、地区内の青少年育成指導者の研修、立入調査、少年の主張地区大会などの事業を、事務局が中心となって行っています。県民会議では各地区青少協の活動を支援しています。

地区青少年育成連絡協議会	青少協事務局の所在	事務局担当職員
青少年育成河宇地区連絡協議会	県人権・青少年男女参画課	高橋 英史
上都賀地区青少年育成対策連絡協議会	県西健康福祉センター	坂本 忠夫
芳賀郡市青少年育成連絡協議会	県東健康福祉センター	國安 真夫
下都賀地区青少年育成推進連絡協議会	県南健康福祉センター	青木 誠
那須地区青少年育成推進連絡協議会	県北健康福祉センター	小室 正明
安定地区青少年育成連絡協議会	安定健康福祉センター	伊藤 栄信
塩谷地区青少年育成連絡協議会	矢板健康福祉センター	村上 民樹
南那須地区青少年育成連絡協議会	烏山健康福祉センター	岩崎 奨

## 青少年育成市町村民会議

昭和62(1987)年に県内で最初の市町村民会議となる「青少年育成湯津上村民会議」が設立され、24年後の平成23(2011)年には、県内全25市町に市町村民会議が組織されました。県民会議は、この間各市町村民会議の設立を促進してきましたが、現在も各市町村民会議の活動を支援しています。

市 町 名	名称
宇都宮市	宇都宮市青少年育成市民会議
足利市	足利市青少年育成会連絡協議会
栃木市	栃木市青少年育成市民会議
佐野市	佐野市の青少年とともに育つ市民の会
鹿沼市	鹿沼市青少年育成市民会議
日光市	日光市青少年健全育成連絡協議会
小山市	小山市青少年健全育成連絡協議会
真岡市	真岡市青少年健全育成連絡協議会
大田原市	大田原市青少年育成連絡協議会
矢板市	矢板市青少年育成市民会議
那須塩原市	那須塩原市青少年育成市民会議
さくら市	さくら市少年指導員会
那須烏山市	那須烏山市青少年を育てる会

市 町 名	名称
下野市	下野市青少年育成市民会議
上三川町	上三川町青少年育成町民会議
益子町	益子町青少年育成協議会
茂木町	茂木町青少年育成協議会
市貝町	市貝町青少年健全育成推進委員会
芳賀町	芳賀町青少年健全育成推進協議会
壬生町	壬生町青少年健全育成実施委員会
野木町	野木町青少年健全育成協議会
塩谷町	塩谷町青少年育成町民会議
高根沢町	高根沢町青少年健全育成推進委員会
那須町	那須町青少年育成協議会
那珂川町	那珂川町青少年育成協会



# 少年の主張 発表大会特集

栃木県少年の主張発表大会は今年で第42回となります。今回は、平成18年の第29回県大会で最優秀賞を受賞し、その年の第28回全国大会では青少年育成国民会議会長奨励賞を受賞した本澤理沙さんへのインタビューを特集としてお届けします。本澤理沙さんは当時、日光市立三依中学校の2年生でした。



## どのような思いから野村先生を題材にされたのですか

当時の私にとって大切な人というか身近な人が亡くなるという経験が初めてでした。しかも、毎日お世話になっていた野村先生の死ということで衝撃と悲しみがとても大きかったです。その時先生から「野村先生のことで書いてみてはどう？」と勧められて書きました。野村先生は音楽の先生で、私は入学当時から先生の授業を受けていました。野村先生は三依中学校に長く勤めていたので、三依のことが大好きで何でもご存知の方でした。

## 野村先生のことで印象に残っていることはありますか

言葉とかではなく、先生のお姿が印象に残っています。病気だということもぎりぎりになるまで気付かないくらい、周りにつらいところを見せず常に明るい先生でした。杖をついて校内を歩いていた姿を見てから病気だと気付きましたが、それがなければ病気だと気付かないくらいいつも元気で明るかった

### 本澤理沙さんの記録

- 平成18年当時 日光市立三依中学校 2年
- 9月5日 栃木県少年の主張発表上都賀地区大会（会場：日光市立今市中学校）最優秀賞
- 9月16日 栃木県少年の主張発表県大会（会場：とちぎ男女共同参画センター）最優秀賞
- 11月12日 少年の主張全国大会（会場：国立オリンピック記念青少年総合センター）青少年育成国民会議会長奨励賞

### (発表文の内容)

「昨日、野村先生が病気のために亡くなられました。」

先生の姿と歌声が頭の中を駆けめぐり涙となってこぼれおちた。

大切な人の死を目のあたりにして、自分も周りの人もいつ人生が終わるか分からない、明日終わるかもしれないと恐くなった。今まで生きてきた証ってなんだろう。どうしていいか分からなくなった時、先生の笑顔が心に浮かんだ。先生は何をしたいかより、今、伝えたいこと、何をすべきかを考えて一生懸命生きていた。人生ってこんなに楽しいのだと伝えてくれた。

あれから私はいつでも笑顔でいようと努力している。この世にむだな命、人間、人生なんて絶対がない。今、この時を精一杯生きられることに感謝し、楽しい日々、人生に感謝することが「生きる」ことだと気づいた。

私はこれから先、人とのふれあいを大切に仕事に就く、自分なりの幸せを見つけるという夢の実現のため努力をする。笑顔を忘れず精一杯生きる。自分自身が納得できる「人生」を生きるため。





です。なかなか真似できないことだと思います。心がつらい時、体調が悪い時、周りにまでは気を配れずに暗くなってしまうがちです。先生は違いました。とてもつらかったはずなのにいつも優しく、明るく、ニコニコ笑顔でいた先生でした。そのようなお姿から「悲しい顔をしていても前に進まない。野村先生のように笑顔でいれば周りも笑顔でいられるし、同じ時間を過ごすなら、明るく過ごしていきたい。」と思うようになりました。

このように野村先生の生き方を通して学んだことがたくさんありました。野村先生のおかげで素晴らしい大会に出場させてもらったので感謝しています。大会では野村先生も一緒にという思いで野村先生の写真を壇上に置いて発表しました。野村先生の奥様も発表会に見に来てくださり、声をかけていただきました。今でも年賀状のやり取りをされていて繋がりがあります。

### 地区大会、県大会、全国大会での思い出をお聞かせください

三依中学校は、学年は関係なく毎年全校生徒がそれぞれ自分の主張を書き、発表も全校生徒全員が行いました。少人数なので発表会は大規模なものではなくこじんまりとしていました。県大会に出場した2年生当時は、2年生は3人、3年生も3人、1年生は4人で、あとは先生方が集まる発表会です。

学校の中だけで発表は終わるものだと思っていたので、多くの人に聴いてもらえるとは思っていませんでした。大会では緊張もしましたが、自分の思いを伝えるという気持ちで発表に臨みました。県大会のような大勢の前で発表することが今までありませ

んでした。私以外の周りの出場者がすごく良く見えました。学校から見に来てくれた方々もいたので不安とプレッシャーでいっぱいでした。ですが、緊張していたのは直前までで、発表が始まってしまえば自然と話せたような気がします。

発表は先生がつきっきりで毎日放課後に指導してくださいました。学校が休みの土曜日でも部活が終わった後に練習につきあってくれました。他の先生方からも「聴いてあげるから読んでごらん。」とっていただきましたし、生徒の皆も聴いてくれるなどして練習を手伝ってくれました。回数を重ねることが練習になるとのことで、何回も聴いてくれました。先生方からは「ここはこうしたほうがもっとよくなるよ。」と表現の仕方とか声の大きさについてアドバイスをいただきました。

指導してくださった先生は私の心の中をうまく引き出してくれました。「この時はどう思った?」「こうなったらどうなるかな?」とか、自分で考えさせて、自分をうまく引き出してくれる先生でしたので、すんなりと文章を書くことができました。自分で考えて書いたものは気持ちが入り易かったです。ここはこうだよという先生からの一方通行の指導だけだとその通りにしかできないと思うので、先生の教え方は私に合っていたのだと思います。

先生には発表以外でも色々とお世話になりました。はっきりとした先生で、違うことは違うとびしっと伝えてくれた先生でもありました。全国大会でも引率してくれました。先生と何回も練習を重ねたので、先生のおかげで全国大会でも自信をもって発表することができました。感謝の気持ちしかありませ



ん。地区大会、県大会でも一緒でしたので心強かったです。私が不安になっていた時に、「だいじょうぶ。なるようにしかならないから。」と声を掛けて私を支えてくれた先生でした。

大会の中では全国大会が一番緊張しました。会場が東京で、広くて、さらに泊まりがけでしたので移動中も緊張していました。前日に参加した全国大会出場者の方々と交流会は食事を兼ねていて、参加者の方々とコミュニケーションをとるような内容だったのを覚えています。ただ、とても緊張していたので話した内容とか、発表者の内容でさえもあまりよく覚えていないのですが、私よりも堂々としていて自信に溢れていると感じました。当日の朝に、声をたくさん出すために外で練習しましたが他の発表者の練習する声が聞こえました。「上手だなあ。」と思いながら、不安も感じつつ練習していましたが、本番が始まればいつもどおり自然と話せました。地区大会、県大会、全国大会で発表しましたが、どの発表も悔いは残っていません。その時できることをすべて出し切りました。

### インタビューにあたり当時の文章を改めて読み返してみてもう一度か

最初の始まりの部分は今でも覚えています。“一生懸命生きる”という思いで書いていた文章を読んで、今まで生きてきて、その当時自分が思っていたように生きてこられたかなと思返しました。今毎日楽しく、幸せに過ごせています。きっと少年の主張の経験が生かされて今の生活につながっていると思いますので、自分が書いた内容を少しずつ達成できているのではと思いました。



### 中学生へのメッセージをお願いします

中学生の頃は悩むこともたくさんあって、それが全てだと思ってしまうこともあるかと思います。つらいことがあるとそればかりに集中してしまい、嫌なことがあるとすごく落ち込むこともあります。つらいこと、嫌なことだけではありません。頑張っただけでそれを乗り越えれば楽しいこともいっぱいありますし、笑えることもたくさんあるかと思います。今だけ全てだと思わずに、この先人生は長いのでこれからたくさん楽しいことがあると思っていれば、嫌なことがあっても少しは乗り越えることができるのではと思います。また、今はスマートフォンなどで簡単に連絡がとれます。便利な面もちろんありますが、直接会って顔を見て会話することで感じることもあります。そうした部分を忘れずに生活できればいいのではないのでしょうか。

### 本澤さんが中学生当時楽しかったこと、今楽しいことがあれば教えてください

私は学校に通っている時が一番楽しかったです。授業も楽しくて、昼休みには先生方と一緒にホッケーをしていました。先生と友達と階段に座って話していたことも覚えています。給食の時間にはランチルームという部屋で、校長先生をはじめ先生方と生徒が混ざって一緒になって食べることもとても楽しかったです。生徒と先生の関係が親密で家族みたいな学校でした。また、運動会は三依小学校と合同で実施して、地域の方々も参加します。参加者全員顔が分かるような運動会でした。先生だけではなく地域とも密接につながっていました。三依はどの場所も敵わない一番好きな場所です。野村先生も三依のことを本当に好きでいてくれたと思います。

今は医療事務の仕事に就いています。勤めている病院は地域に密着している病院です。事務的な会話だけではなく、天気の話とか畑の状況についても話してくれます。子ども達とも話したり関わったりするので、ちょっとした会話が楽しいです。そうした人と人との関わりは大切だと思います。

本澤さんの今後の目標があれば教えてください

後悔をしたくありません。あの時やっておけばよかったなと思うことを減らすために、やりたいと思ったことはできるうちに少しずついいからどんどん達成していきたいです。後回しにするのではな

く、もしかしたら今しかできないことかもしれないので、今やりたいと思ったことに対して努力をして達成していければ自分の身にもなると思うので、色々なことにチャレンジしていきたいです。

インタビューを終えて

今も大切にされている野村先生の写真をお持ちになり、当時のことについて言葉を選びながら丁寧にお話しくださいました。

アットホームな雰囲気でもとても楽しかった中学時代のこと、野村先生とのすてきな思い出、大好きな自分のふるさと三依のこと…。

そして、何より「今、毎日楽しく幸せです。」と話した時の輝いた笑顔が印象的でした。

笑顔が人に与える力の大きさと、人の温かさにより豊かな心が育まれることを強く感じたインタビューでした。本澤さん、ありがとうございました。

聞き手 栃木県青少年育成県民会議 平山・樋口



伝えよう！ さあ、

心を豊かに 思いを確かに

第42回 栃木県

少年の主張発表 県大会

中学生が日常生活の中で感じていることや考えていることを発表します。各地区の大会で選出された代表者が県大会に出場し、全国大会を目指します。

日時 令和元年 9月21日(土) 13:00~ 会場 宇都宮市文化会館 小ホール

地区大会の予定	河宇地区大会	8月21日(水) パルティとちぎ男女共同参画センター	10:00~	安足地区大会	9月3日(火) 足利市民会館	12:30~
	下都賀地区大会	8月22日(木) 壬生町城址公園ホール	12:10~	那須地区大会	9月5日(木) 那須町文化センター	12:15~
	芳賀地区大会	8月22日(木) 真岡市青年女性会館	13:00~	南那須地区大会	9月12日(木) 那珂川町小川総合福祉センター	14:00~
	上都賀地区大会	8月24日(土) 鹿沼市民情報センター	12:45~	塩谷地区大会	9月13日(金) 栃木県立矢板東高等学校附属中学校	13:20~

## 平成31年度栃木県青少年育成指導員会総会、第1回自主研修会を実施しました

平成最後の月、4月19日（金）にとちぎ青少年センターで開催し、約40名の方にご参加いただきました。本年度は栃木県青少年育成県民会議の小林理事長からご参加いただいた青少年育成指導員の皆様に委嘱状を交付しました。

総会では育成憲章唱和の後、昨年度の事業報告や今年度の予定についての提案等がありました。また、新しい役員が選出されました。

総会に続き、第1回自主研修会を宇都宮大学地域デザイン科学部教授の大森玲子先生を講師にお迎えして実施しました。自主研修会のテーマは「地域とともに歩む青少年育成を目指した取り組み～地域デザイン科学部の学びを通して～」です。

平成28年度設置「地域デザイン科学部」とは？

- ・魅力ある地域をつくるため、地域の課題を理解し、各地域の資源と特性をいかした**まちづくりを支える人材育成**を目指す。
- ・まちづくりを支える知識・スキルなどの「**地域の“知”の拠点**」を形成し、地域との**共創機能を強化**する。



（パートナー：日光市社会福祉協議会）

特に平成30年度「地域プログラム演習」においては、栃木県の11自治体の28地域プロジェクト・パートナー（自治体、NPO、企業など）と連携して、学生達、教員が有意義な活動がなされたとの話がありました。今年度は、新規に3市町が協力に加わるそうです。

また、6地区での地域活性化を目指す活動をする高校生達を応援するマガジンをこの学部が発行したことなどが紹介されました。

いつも、青少年の健全育成に資する活動（地域活動の活性化・好ましい社会環境づくり・青少年に関わる問題把握と周知・人材育成）に地域のボランティアリーダーとして活躍されている育成指導員の方々にとって、高校生・大学生が次世代のボランティアリーダーになり、さらには地域やまちづくりを支える人材として育っていることに期待と励みを感じられてたようです。最後に、土田陽吉会長から大森玲子先生へ、同じく地域とともに歩む青少年育成を目指す会の代表として温かな謝辞がありました。



注目すべき「地域プロジェクト演習」・「地域デザインセンター」とは？

- ・学生達が、栃木県内の地域に出かけフィールドワーク（調査・分析）をして解決策を提案する。（左写真：地域デザイン科学部ホームページより）
- ・地域デザインセンターをハブとして、学部教員・センター教員・地域の連携者が協働して地域創生を推進する。



## 令和元年度 市町村民会議等全体連携会議を開催しました

6月19日（水）午後1時30分から栃木県総合教育センターで「令和元年度 市町村民会議等全体連携会議」を開催しました。各市町村民会議の代表、事務局と青少年育成関係団体の代表約100名が一堂に会しました。

この全体連携会議は各青少年関係団体がそれぞれどのような事業を展開しているのか御理解いただくとともに、より連携を深めることを目的としています。

前半は、まず県民生活部人権・青少年男女参画課主導の下、「とちぎの子ども育成憲章唱和」を行いました。そして、県民会議からの事業説明後、「社会を明るくする運動」栃木県委員会・栃木県PTA連合会・栃木県子ども会連合会・栃木県青少年センター連絡協議会・栃木県教育委員会生涯学習課・栃木県総合教育センター生涯学習部・栃木県県民生活部人権・青少年男女参画課の各団体からそれぞれ事業説明をしていただきました。



「とちぎの子ども育成憲章」唱和



各青少年関係団体からの説明

後半は、栃木県教育委員会事務局生涯学習課、各教育事務所ふれあい学習課、県総合教育センター生涯学習部の皆様にお力添えをいただき、参加者の皆様に「地域元気プログラム」を実際に体験していただきました。

以下、参加者の振り返りの一部です。ご協力いただきありがとうございました。

地域課題を解決するには限界があるので、地域全体で取り組む必要性を改めて感じました。今回学んだ「地域元気プログラム」などを基に地域でつながるきっかけ作りをしていきたいです。

青少年の健全育成を目的に活動している団体が様々あり、それぞれが努力しているということが実感できる会議でした。

事業報告のみではなく、他市町の方々と交流が図れて、地域元気プログラムを体験できてとても充実していました。もっと時間が欲しいくらいでした。

参加型のグループ協議、最初は不安でしたが、思っていた以上に楽しく学ぶことができました。



「地域元気プログラム」全体説明



プログラム体験中



## 親子学び合い事業（ネット時代の歩き方講習会）

親子学び合い事業は今年で12年目になります。講習会では、インターネットの利用の課題と子どもたちの将来像を示し、参加する親子がそれぞれの立場からインターネットについて考えるきっかけを作ります。今年度は、下記の予定で開催中です。見学可能な学校もありますので、希望する方は県民会議事務局（028-643-1005）までお問い合わせ下さい。

### 令和元（2019）年度親子学び合い事業（ネット時代の歩き方講習会）実施計画（予定）

No	実施日	学校名
1	4月24日(水)	那須烏山市立烏山中学校
2	4月26日(金)	鹿沼市立東中学校
3	5月23日(木)	栃木市立赤麻小学校
4	5月29日(水)	市貝町立市貝小学校
5	6月1日(土)	野木町立南赤塚小学校
6	6月5日(水)	佐野市立山形小学校
7	6月14日(金)	栃木市立栃木第四小学校
8	6月18日(火)	宇都宮市立清原東小学校
9	6月18日(火)	日光市立小林中学校
10	6月18日(火)	小山市立小山中学校
11	6月19日(水)	宇都宮市立白沢小学校
12	6月20日(木)	栃木市立西方中学校
13	6月21日(金)	真岡市立久下田小学校
14	6月24日(月)	市貝町立小貝小学校
15	6月26日(水)	野木町立野木小学校
16	6月26日(水)	芳賀町立芳賀南小学校
17	6月26日(水)	真岡市立山前中学校
18	6月27日(木)	日光市立今市第二小学校
19	6月27日(木)	足利市立桜小学校
20	6月29日(土)	小山市立若木小学校
21	7月3日(水)	真岡市立真岡東中学校
22	7月3日(水)	那須烏山市立南那須中学校
23	7月4日(木)	宇都宮大学教育学部附属特別支援学校
24	7月4日(木)	下野市立国分寺中学校
25	7月6日(土)	那須塩原市立黒磯中学校
26	7月8日(月)	大田原市立金田北中学校
27	7月9日(火)	那須塩原市立共英小学校
28	7月10日(水)	下野市立吉田西小学校
29	7月11日(木)	矢板市立東小学校
30	7月17日(水)	那須塩原市立西那須野中学校
31	7月17日(水)	那珂川町立馬頭中学校
32	7月18日(木)	栃木県立那須特別支援学校

No	実施日	学校名
33	7月18日(木)	那須町立那須中学校
34	7月18日(木)	大田原市立金丸小学校
35	7月19日(金)	大田原市立奥沢小学校
36	7月22日(月)	鹿沼市立南摩中学校
37	9月4日(水)	鹿沼市立さつきが丘小学校
38	9月6日(金)	栃木県立益子特別支援学校
39	9月7日(土)	矢板市立矢板小学校
40	9月10日(火)	上三川町立本郷小学校
41	9月11日(水)	宇都宮市立上戸祭小学校
42	9月13日(金)	高根沢町立中央小学校
43	10月9日(水)	塩谷町立塩谷中学校
44	10月16日(水)	足利市立毛野小学校
45	10月16日(水)	佐野市立戸奈良小学校
46	10月24日(木)	佐野市立城東中学校
47	10月25日(金)	益子町立七井小学校
48	10月25日(金)	塩谷町立船生小学校
49	11月12日(火)	壬生町立壬生東小学校
50	11月13日(水)	日光市立安良沢小学校
51	11月15日(金)	壬生町立睦小学校
52	11月20日(水)	小山市立大谷北小学校
53	11月20日(水)	芳賀町立芳賀北小学校
54	12月4日(水)	那須町立那須高原小学校
55	12月11日(水)	上三川町立本郷中学校
56	12月19日(木)	さくら市立南小学校
57	12月20日(金)	さくら市立上松山小学校
58	1月8日(水)	栃木県立のざわ特別支援学校
59	1月15日(水)	足利市立矢場川小学校
60	2月12日(水)	高根沢町立北小学校
61	2月19日(水)	茂木町立逆川小学校
62	2月19日(水)	茂木町立須藤小学校
63	2月19日(水)	益子町立益子小学校



# とちぎ未来づくり財団事業のお知らせ

## 栃木県総合文化センター 出張コンサート



問い合わせ先 028(643)1010 (文化振興課)  
住所 宇都宮市本町 1-8  
URL <http://www.sobun-tochigi.jp>  
E-mail [tmf@tmf.or.jp](mailto:tmf@tmf.or.jp)



栃木県総合文化センター大規模改修工事休館に伴い、財団主催事業は県内各施設で開催いたします。  
(ホール棟 2020年3月末まで休館。ギャラリー棟 2019年8月1日先行オープン！)

★☆☆主催事業のお知らせ☆☆☆ <http://www.sobun-tochigi.jp/performance.html>

### 森 麻季 音の美術館 ～イタリア 美への旅路



9月1日(日)  
一般発売開始!

大型スクリーンに映し出される名画とその物語。日本を代表するソプラノ森麻季が美しい語りとともに、珠玉の名曲を歌い上げます。

【プログラム】  
アヴェ・マリアの名曲たち  
ブッサーニ:歌劇「ジャンニ・スキッキ」より「私のお父さん」ほか

2019年11月17日(日) 15:00開演  
会場: 那須野が原ハートモニーホール 大ホール  
共催: (公財) 那須野が原文化振興財団  
S席5,000円 A席3,500円 (A席学生2,000円)

### とちぎ舞台芸術アカデミー2019【音楽部門】 第12回栃木県楽友協会「第九」演奏会

毎年恒例となった“オールとちぎ”でお届けする第九です。

指揮: 水越久夫  
管弦楽: 栃木県楽友協会管弦楽団 (栃木県交響楽団)  
合唱: 栃木県楽友協会合唱団 (公募)

【プログラム】モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲  
ベートーヴェン: 交響曲第9番二短調作品125「合唱団」



9月13日(金)  
発売開始!

2019年12月22日(日) 14:00開演  
会場: 宇都宮市文化会館 大ホール  
共催: 栃木県楽友協会・(公財)うつのみや文化創造財団  
全席自由1,500円

【チケットに関するお問い合わせ】

栃木県総合文化センタープレイガイド  
TEL 028 (643) 1013 (営業時間 10:00～19:00)  
※休館中も営業しております。



## 栃木県子ども総合科学館

左の「プラネタリウム番組」はプラネタリウム観覧料が、右の「企画展」と「おしごとラボ」は展示観覧料が必要です。



問い合わせ先 028(659)5555  
住所 宇都宮市西川田町567  
URL <http://www.tsm.utsunomiya.tochigi.jp>

### プラネタリウム一般向け番組 「スターリーテイルズ - 星座は時をこえて -」

会場: プラネタリウム  
期日: 6月8日(土)～9月1日(日)  
定員: 280名

内容: 透明感あふれる作風で国内外に多くのファンを持つKAGAYAスタジオが、ギリシア神話の星座物語を全天周プラネタリウム番組として現代に蘇らせます。何千年も受け継がれてきた星座は、わたしたちに何を語りかけてくれるのか。星空のもと、太古の昔から未来へとつながる私たち人類の想いと神話の世界が、幻想的な映像となってプラネタリウムのドームいっぱいに広がります。夏の星空解説とともに楽しみください。



### さがそう! 宇宙のヒミツ ～みらいくんの宇宙探査～

期日: 7月26日(金)～9月1日(日)  
9:30～16:30 最終入館 16:00

対象: 子どもから大人まで

定員: 無

内容: 宇宙をテーマにした企画展を開催します。「はやぶさ2」の原寸大模型を展示。楽しいアトラクション、フォトスポットもたくさん。宇宙に関する知識を楽しく学べます。イベントの詳細はホームページをご覧ください。

予約: 無 \*ただし予約が必要なイベントがあります



### プラネタリウム年少向け番組 「ドラえもん宇宙ふしぎ大探検3～地球のふしぎ～」

会場: プラネタリウム  
期日: 3月7日(木)～9月1日(日)  
定員: 280名

内容: ドラえもんやのび太達は、ひみつ道具を使って地球のふしぎを体験する旅に出かけます。地底探検車で地下に眠る恐竜の化石を発見したり、タイムマシンで恐竜絶滅の場面にでくわしたり、地球製造セットで46億年前の地球誕生の現場に降りたつなど、番組では、地球のふしぎを解き明かすヒントを学んでいきます。夏の星空紹介とともに楽しみ下さい。

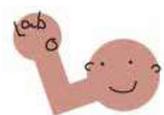


### おしごとラボ

会場: 遊びの世界  
期日: 7/27(土)～8/27(火) 13:00～15:00 (受付)

定員: 無

内容: みんなのあそび場「遊びの世界」を、後期のあそびのテーマ「宇宙」にあわせて変身させるおしごとをやってみよう。自分のおみせの出店もできます。





## とちぎ海浜自然の家



問い合わせ先 0291(37)4004  
住所 茨城県銚田市玉田 336-2  
URL <http://tochigikaihin.jp/>

### ～ 2019 年度後期事業告知～ 魅力的な主催事業がいっぱい！

#### ①カニ釣りわくわくキャンプ テント泊やカニ釣りなど自然体験が満載！

- 期 日:10月12日(土)～13日(日)
- 募集人数:15組 ※県民(小学生以上)対象
- 申込期間:8月6日～9月9日

#### ②海浜秋まつり さんまやさつまいもなど秋の味覚を満喫！

- 期 日:11月9日(土)～10日(日)
- 募集人数:200名 ※県民対象
- 申込期間:8月27日～9月30日

#### ③海浜の初日の出 もちつきで新年をみんなで祝おう！

- 期 日:12月31日(火)～2020年1月1日(水)
- 募集人数:250名 ※県民対象
- 申込期間:10月15日～11月18日

#### ④WE LOVE サイエンス 実験や工作、冬の星座観察など科学が満載！

- 期 日:1月25日(土)～26日(日)
- 募集人数:100名 ※県民(小学生以上)対象
- 申込期間:11月5日～12月16日

#### ⑤海浜冬まつり 大迫力のあんこう吊し切り！

- 期 日:2月15日(土)～2月16日(日)
- 募集人数:200名 ※県民対象
- 申込期間:12月2日～1月6日

詳しくは、とちぎ海浜自然の家のホームページをご覧ください。

とちぎ海浜自然の家では、栃木県で体験できないような海を生かした主催事業を企画して、皆様の参加をお待ちしております。ぜひ、お越しください。



①カニ釣り ②さつまいも掘り ③もちつき



④星空観察 ⑤あんこう吊し切り



## なす高原自然の家



問い合わせ先 0287(76)6240  
住所 那須町湯本 157  
URL <http://windy-nasu.jp>

### ～ 2019 年度後期事業告知～

#### ①ふれあい登山教室in那須連峰③ ※紅葉の絶景スポット・姥ヶ平登山を満喫！

- 期 日:10月5日(土)～6日(日)
- 募集人数:30名 ※成人対象
- 申込期間:8月5日～19日

#### ②わくわく体験デー ※さまざまな創作活動や調理活動を体験！

- 期 日:10月26日(土)
- 募集人数:15組 ※家族対象
- 申込期間:8月20日～9月6日

#### ③こどもチャレンジキャンプ ※仲間と一緒に酪農体験や自然体験に挑戦！

- 期 日:11月2日(土)～3日(日)
- 募集人数:40名 ※小学校5～6年生対象
- 申込期間:9月2日～17日

#### ④クリスマスファミリーデー ※クリスマスにちなんだ楽しい創作・調理活動を体験！

- 期 日:12月14日(土)～15日(日)
- 募集人数:15組 ※家族対象
- 申込期間:10月8日～23日

※昨年度のふれあい登山教室③の様子



#### ⑤家族スペシャルデー ※家族のみが宿泊できるスペシャルデー！

- 期 日:1回目1月11日(土)～12日(日)  
2回目3月7日(土)～8日(日)
- 募集人数:各回15組 ※家族対象
- 申込期間:1回目11月1日～15日  
2回目1月5日～19日

#### ⑥冬のファミリーデー ※那須でしか味わえない冬の自然を家族で満喫！

- 期 日:1回目1月25日(土)～26日(日)  
2回目2月15日(土)～16日(日)
- 募集人数:各回15組 ※家族対象
- 申込期間:11月16日～30日

#### ⑦ふれあい広場 ※障がいのある方やその家族を対象としたイベント

- 期 日:2月29日(土)～3月1日(日)
- 募集人数:15組
- 申込期間:1月5日～19日

※昨年度のこどもチャレンジキャンプの様子



詳しくはホームページや電話でお問い合わせください。



## 栃木県埋蔵文化財センター



問い合わせ先 0285(44)8441  
住所 下野市紫 474  
URL <http://www.maibun.or.jp>

栃木県埋蔵文化財センターでは、秋季の企画として、9月29日（日）の史跡見学会、10月1日（火）～11月29日（金）の特集展示「発掘調査速報展」を行います。

史跡見学会では、参加者を募り、バスで史跡を巡り、考古学専門職員や学芸員が史跡や博物館・資料館等の展示を解説します。今年は「那須の歴史を見てまわろう」と銘打ち、那須地方を候補地に選びました。中世の城館跡を主なテーマとし、黒羽城跡及び資料館を見学します。また、新たな試みとして、県外の史跡を見学コースに入れてみました。同じ城関係の史跡で、那須地方に近い福島県白河市の小峰城跡です。県内外の史跡を比較して、栃木県の史跡の特徴を学ぶよい機会になると思います。

特集展示では、最近発掘調査をした遺跡や整理作業を行っている遺跡の出土品を展示します。これまで目に触れることがほとんど無かったものを見学することができます。また、10月27日（日）には、展示に関連した特別講演会も実施します。ぜひ、足を運んでください。



史跡見学会



特別講演会



特集展示 ギャラリートーク

## ■ 栃木県青少年育成県民会議からのお願い

栃木県青少年育成県民会議では

### 「県民総ぐるみで健全なとちぎの青少年を育むために」

### 賛助会員を募集しています。

当県民会議は、昭和43年に設立されて、県と一体となり、青少年の健全育成のため、地域の組織づくりや明るい家庭づくりの推進を始め、さまざまな活動に取り組んでいます。

最近では、特に「とちぎ心のスクラム県民運動」等により、県民が心をつなげて、健全な青少年を地域全体で育成していこうとする気運が生まれつつありますが、この運動を更に盛り上げるためには、地域で活発に活動をされておられる“多くの県民の皆様”の一体感の醸成が不可欠なものと考えております。

こうしたことから、県民会議では一層の賛助会員の広がりを期し、県民をあげてこの青少年の健全育成を図る土壌づくりを更に進めたいと考えております。

また、賛助会員の皆様からの賛助会費は、貴重な財源として活動経費に充てさせていただいておりますが、より充実した活動の推進のために、更なる支援が必要となっております。

つきましては、栃木県の青少年を更に健全に育成するために、以上の趣旨をご理解のうえ賛助会員にご入会いただき、お力添えを賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和元年7月

栃木県青少年育成県民会議  
理事長 小林 延年

賛助会員数 (令和元年7月現在)	個人	247人
	団体	174団体
賛助会費	団体 (1口)	10,000円
	個人 (1口)	3,000円

●入会申込書はホームページにあります。「栃木県青少年育成県民会議」で検索してください。●

2019 KATEI-NO-HI CONTEST

とちぎ心のスクラム県民運動

2019「家庭の日」

絵日記コンテスト

心あたたまる作品を大募集!!

次代を担う青少年を心身ともに健やかに育むためには、明るく円満な家庭が必要です。ふれあい育む「家庭の日」を広報・啓発し、県民総ぐるみで青少年の育成に取り組むために、家族のふれあいや思い出等をテーマにした、心あたたまる「絵日記」を募集します!

■テーマ

心あたたまる家族のふれあい、コミュニケーション、絆などを表現したもの。

■応募資格

栃木県内にお住まい、または通学している小学生以下の方。

■応募規定

①応募作品は、未発表のものに限ります。②類似作品、二重応募作品は不可とします。③応募作品は一人1点とします。④必ず必要事項を記入してください。不備がある場合は、審査対象外とすることがあります。⑤入賞作品は、新聞紙上やホームページ、各種展示等で発表します。⑥応募作品の著作権は主催者に帰属し、主催者は絵等を単独で使用することができます。⑦応募作品の返還はいたしません。⑧用紙はA4判とし、縦長で使用してください。⑨上段1/2を絵として、下段1/2を日記文とします。⑩日記文は、縦書き200字程度とします。⑪絵は小学生以下の方が描いたものに限ります。

■応募方法

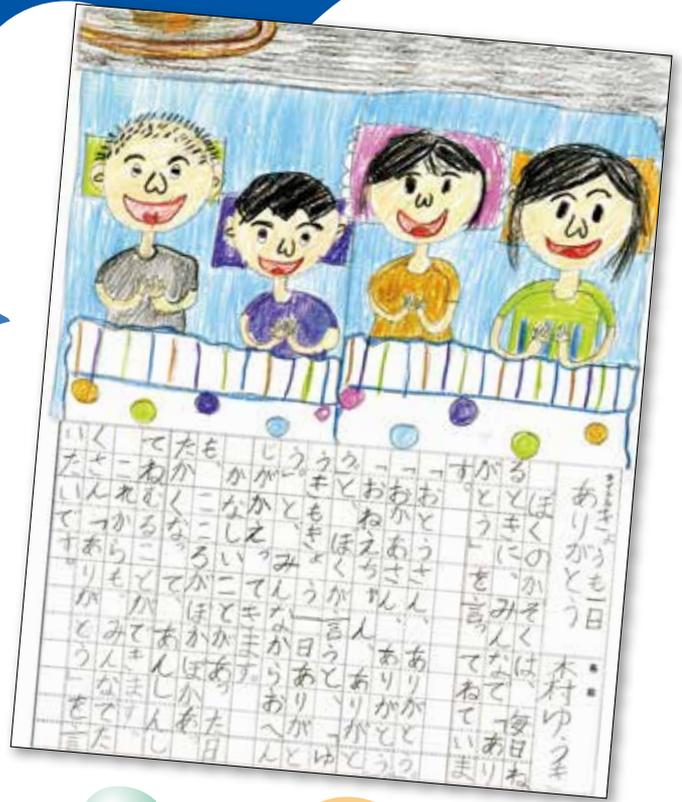
専用用紙【下記URLからダウンロード可(メールでの応募は不可)】もしくは任意のA4用紙にてご応募ください。

■発表

入賞者には本人および在学に連絡するとともに、入賞者名、入賞作品は下野新聞紙上及び下野新聞ホームページにて発表いたします。

■表彰式

受賞者の表彰は令和元年11月15日(金)栃木県公館で実施します。



きょうも一日  
ありがとう

2018年度  
最優秀作品  
木村 優希さん  
(佐野市立田沼小学校)

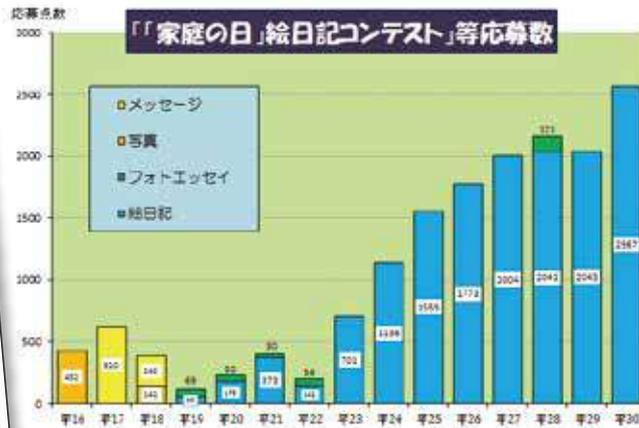
◆◆ 作品受付期間 ◆◆

令和元年7月1日(月)～  
9月10日(火)消印有効

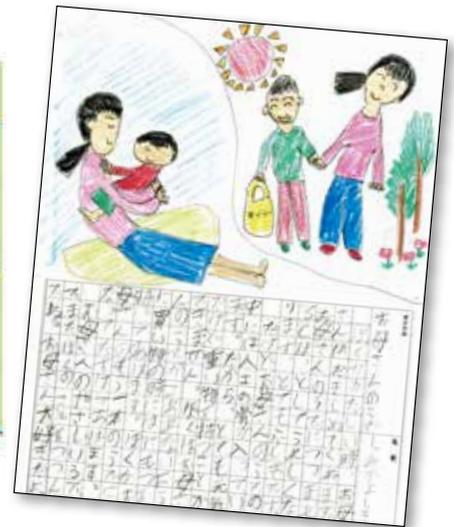


おとうとの  
たんじょうび

2018年度  
優秀作品  
根本 蒼生さん  
(那須町立高久小学校)



平成16年(応募数432)からはじまり平成30年(応募数2,567)の長い間、ご理解とご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。特に小学校関係の皆様におかれましてチラシ(応募用紙)を10枚以上必要とする場合は、ご連絡いただければすぐに発送いたします。028-643-1005までお電話ください。



お母さんのうで

2018年度  
優秀作品  
清水 良樹さん  
(那須塩原市立南小学校)

詳しくはお問い合わせください

問合せ先(公財)とちぎ未来づくり財団 青少年育成課 ☎028-643-1005 http://www.tmf.or.jp/